（令和８・４・２２）

第７８期集合修習Ａ班カリキュラムの概要

司 法 研 修 所

はしがき

令和６年度（第７８期）司法修習生のうち、Ａ班（実務修習地が東京、立川、横浜、さいたま、千葉、大阪、京都、神戸、奈良、大津及び和歌山である者）を対象とする集合修習のカリキュラムは、１２クラス編成で令和７年１１月２１日に開始され、令和８年１月９日に終了した（その後、各実務修習地等において選択型実務修習が実施された。）。

第７８期Ａ班の集合修習のカリキュラムの概要は、この資料及び別添「令和６年度（第７８期）司法修習生Ａ班集合修習日程予定表」のとおりである。

集合修習のカリキュラム策定に当たっては、法科大学院において修得した学識及び実務の基礎的素養等並びに分野別実務修習の成果を踏まえて「幅広い法曹の活動に共通して必要とされる法的問題の解決のための基本的かつ汎用的な技法と思考方法」（司法修習生指導要綱（甲）第１章第１）を修得させる観点から、実務修習を補完し、司法修習生全員に、実務の標準的な知識、技法の教育を受ける機会を与えるとともに、体系的で汎用性のある実務知識や技法を修得させることを旨としている（要綱（甲）第３章第１）。

このような趣旨を踏まえ、第７８期Ａ班においても、修習記録を用いて司法修習生に文書を起案させ、討論、講評を行うことを指導の中心としつつ（同第４の１）、法律書面の全体を形式面も含めて起案させることにはこだわらず、より実質的に、書面の内容の根底をなす思考過程を明らかにさせることを重視する方法で出題がされているほか、ロール・プレイングも含めた民事・刑事の様々な講義、演習、問題研究や法曹倫理、国際人権等に関する演習、講演なども実施された。

司法修習生指導担当者各位におかれては、本資料を今後の実務修習における指導の参考としていただきたい。

第１　民事関係科目

Ⅰ　民事裁判

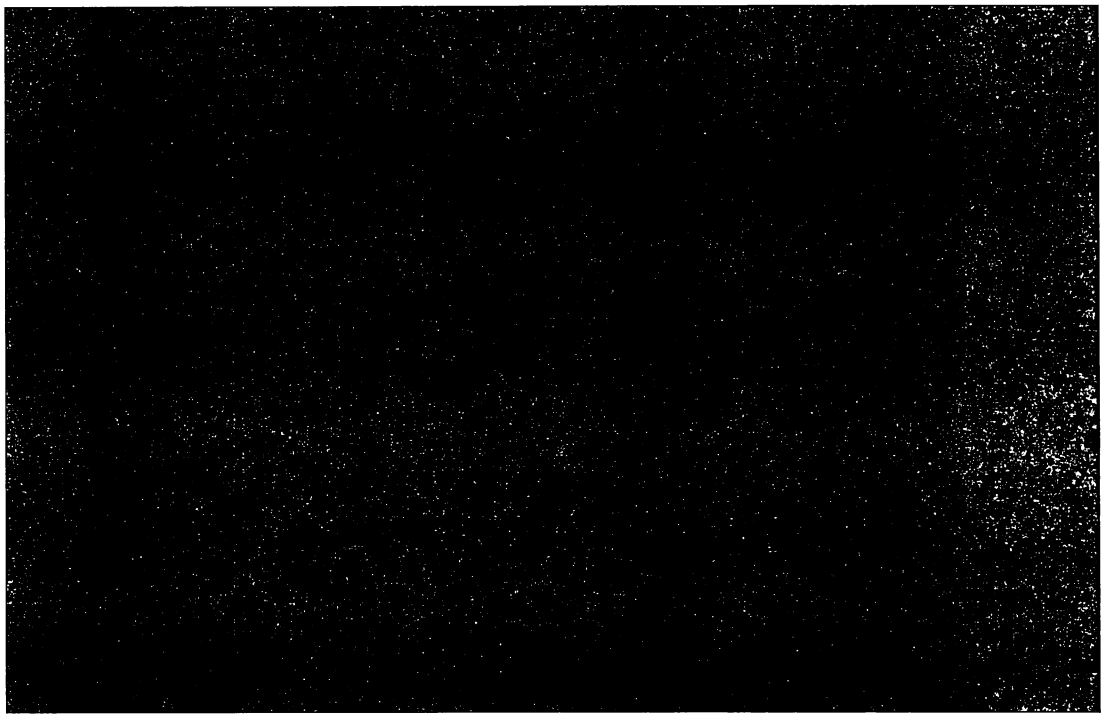
１　講義

冒頭にガイダンスを行い、集合修習における民事裁判科目及び民事共通科目の修習内容を説明してその意義を理解させ、今後の学修方法に関する指導を行うことで、集合修習への動機付けを行った。

[redacted]

２　起案

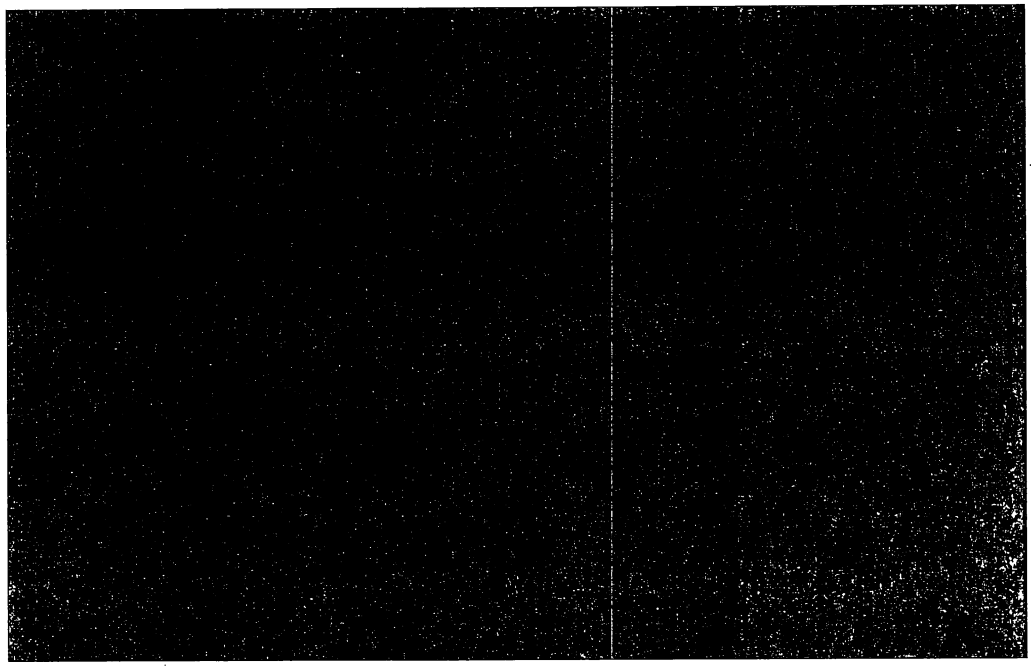
(1)　総説



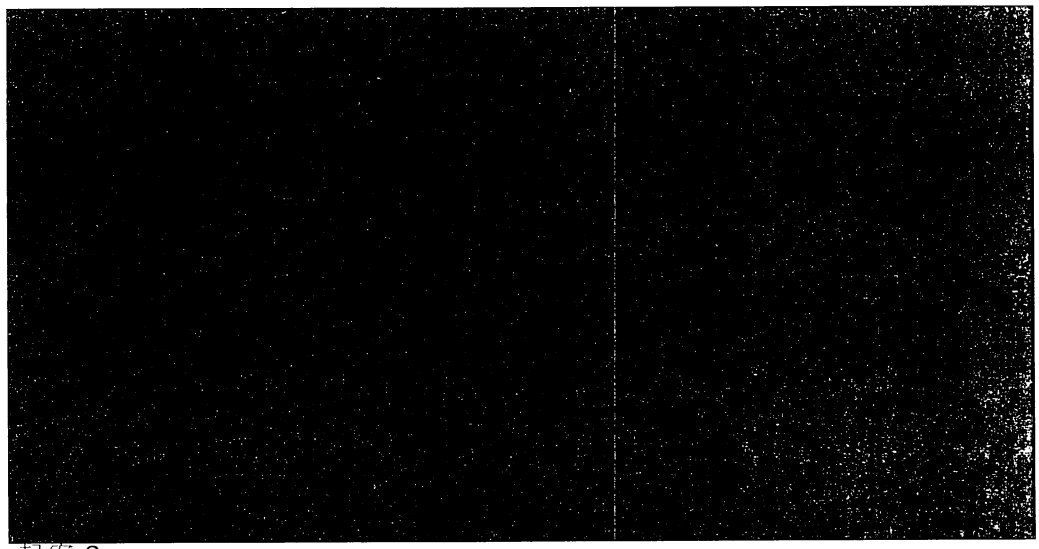
(2)　起案１

ア　事案の概要

[redacted]

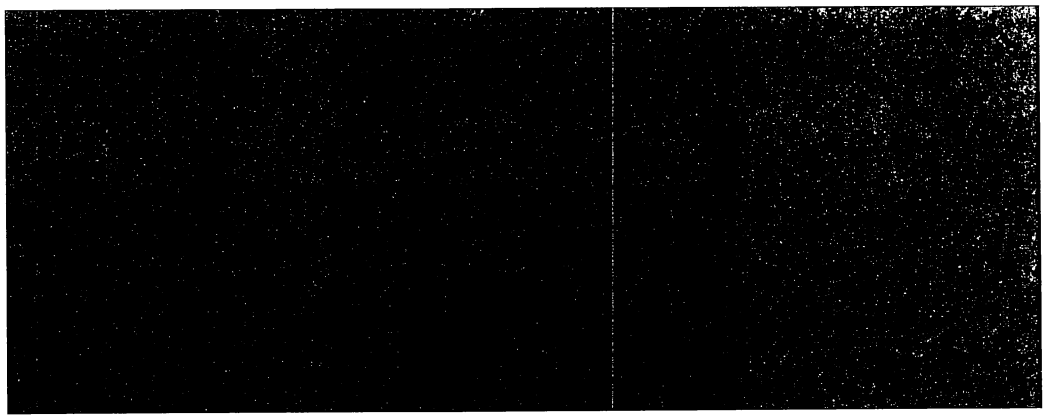


イ　起案事項等



(3)　起案２

ア　事案の概要



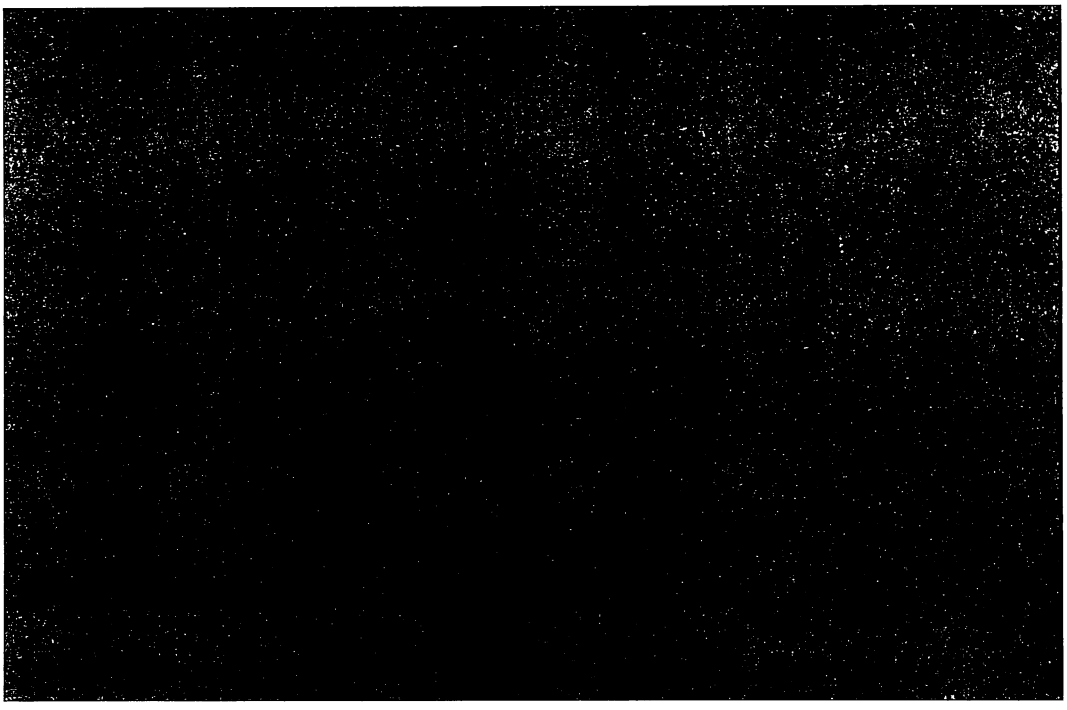
[redacted]

イ　起案事項等

[redacted]

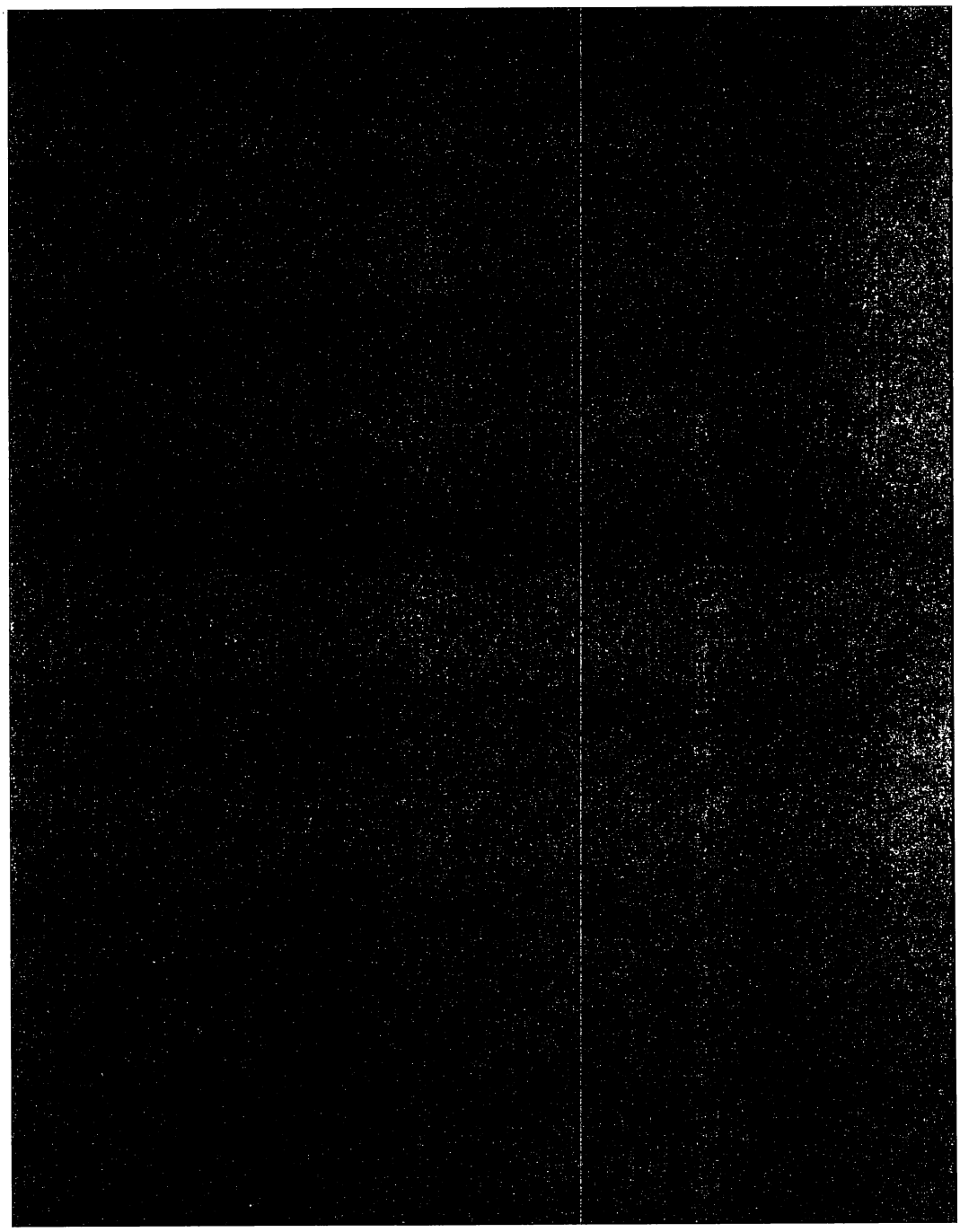
3　演習（争点整理）

(1)　総説



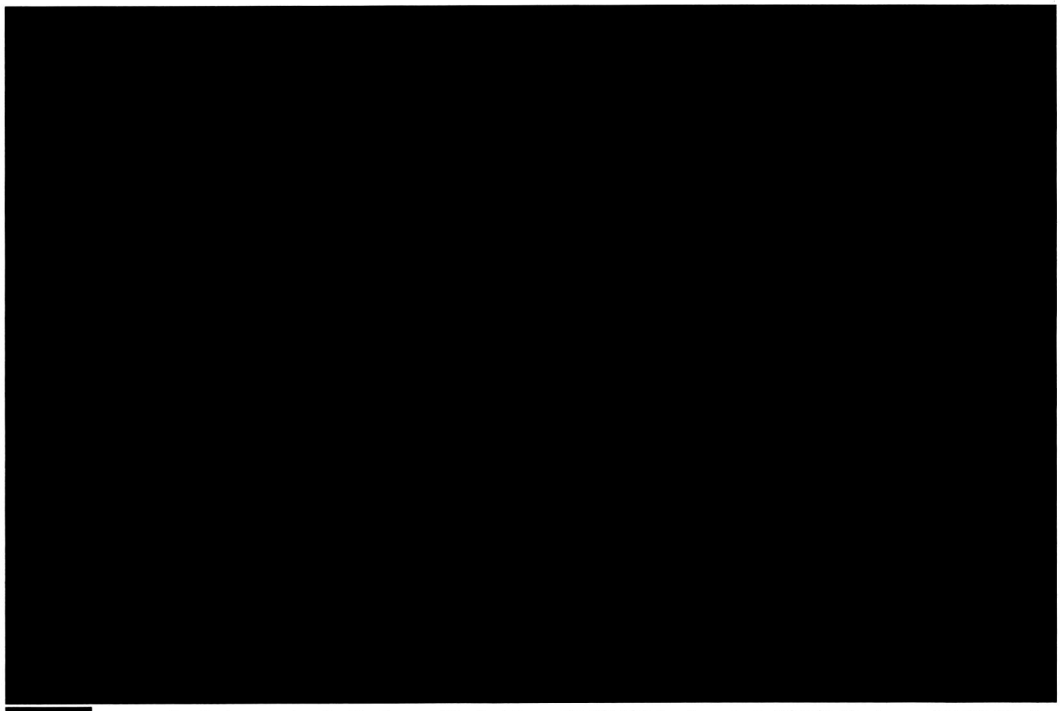
[redacted]

(2) 事案の概要



(3) 演習内容等

[redacted]



[redacted]このように、本カリキュラムは、実務家としての基礎的かつ実践的な思考力、状況に応じた紛争解決能力のかん養を目的とするものであり、法曹としての実際の活動との架橋を意識したものである。

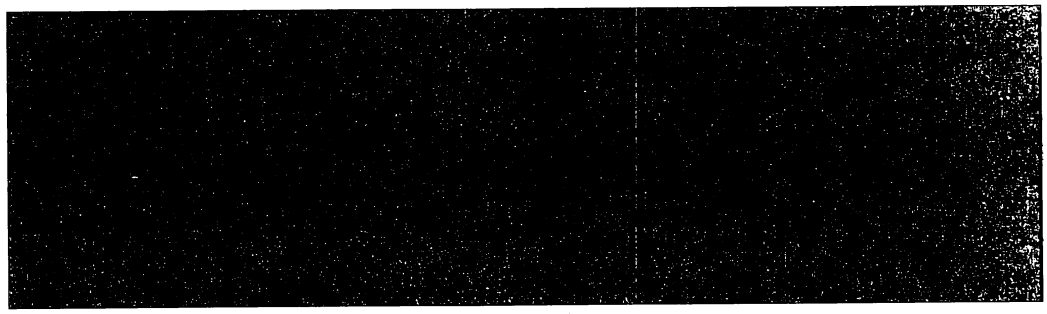
Ⅱ　民事弁護

1　問題研究１～３

(1)　実施の概要

[redacted]

(2)　事案の概要



(3)　実施内容

ア　問題研究１

[redacted]

イ　問題研究２（即日起案）

[redacted]

ウ　問題研究３

[redacted]

2　起案

(1)　起案１

ア　事案の概要

[redacted]

[redacted]

イ　起案事項等

[redacted]

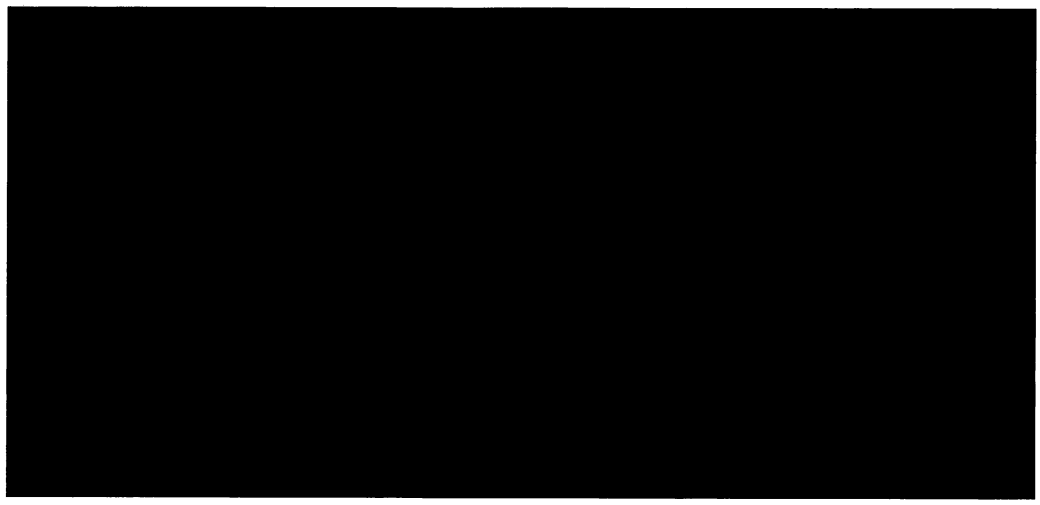
(2)　起案２

ア　事案の概要

[redacted]

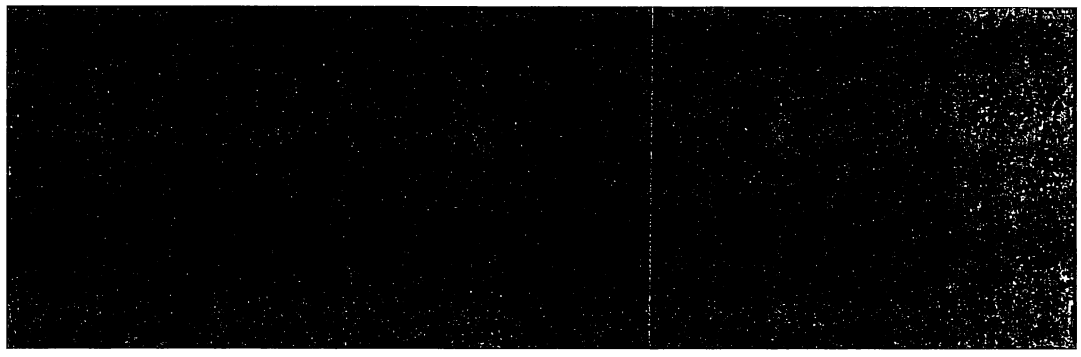
イ　起案事項等

[redacted]

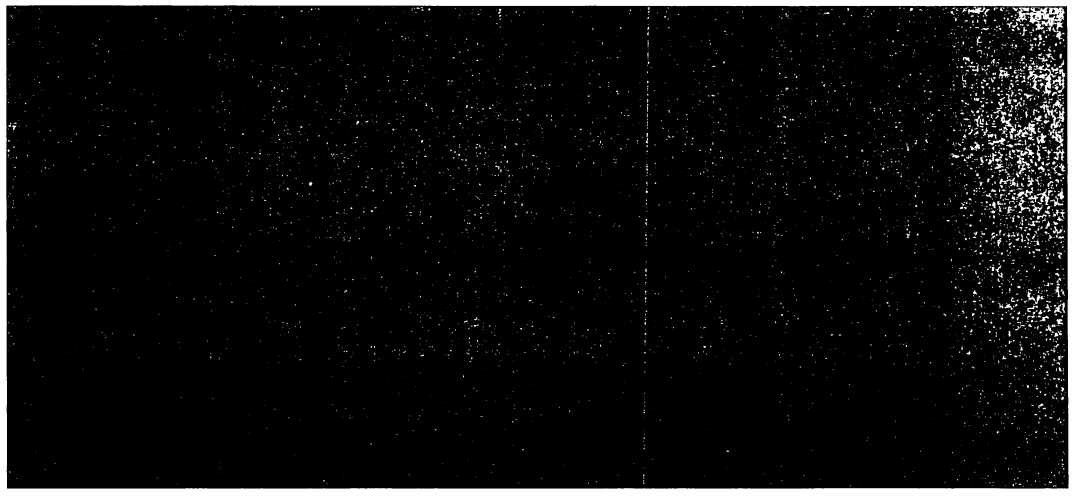


3　講義（契約）

(1)　実施の概要



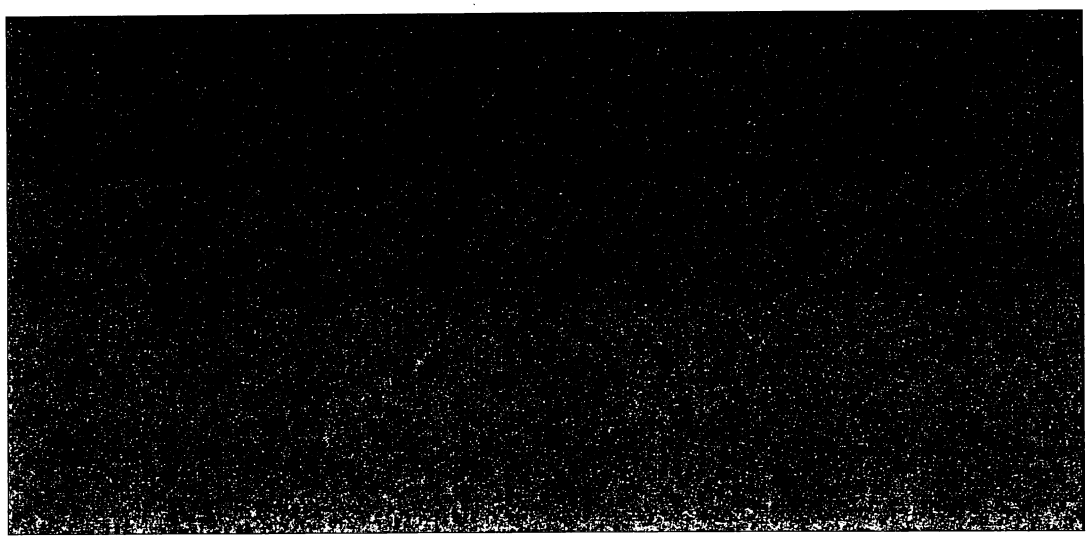
(2)　設問内容



4　演習（法律相談）

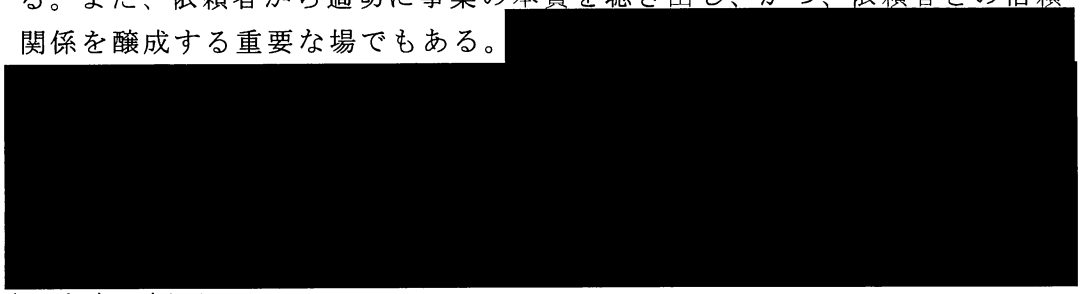
(1)　実施の概要





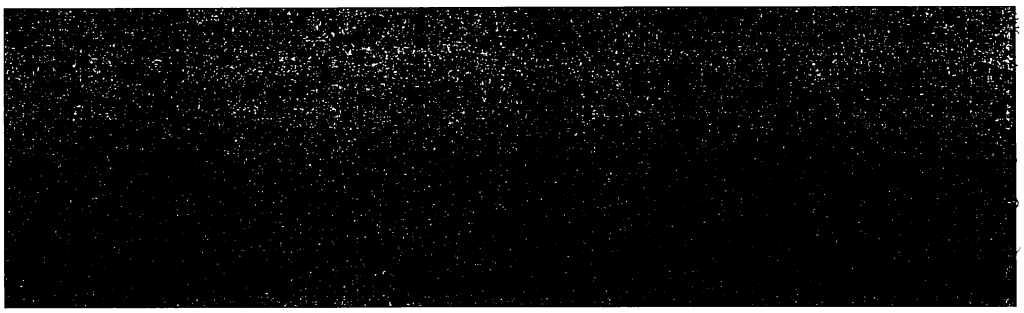
(2)　演習の目的

法律相談は、受任に先立つ行為として、受任の可否、事案解決の見込み、処理方針などを判断し、かつ、依頼者に対して、事案処理方針の説明、報酬等の説明をした上で、弁護士委任契約の締結などを行う重要なステージである。また、依頼者から適切に事案の本質を聴き出し、かつ、依頼者との信頼関係を醸成する重要な場でもある。



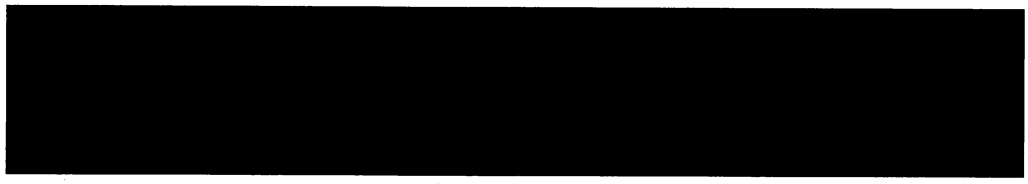
(3)　事案の概要

ア　ケース１



イ　ケース２

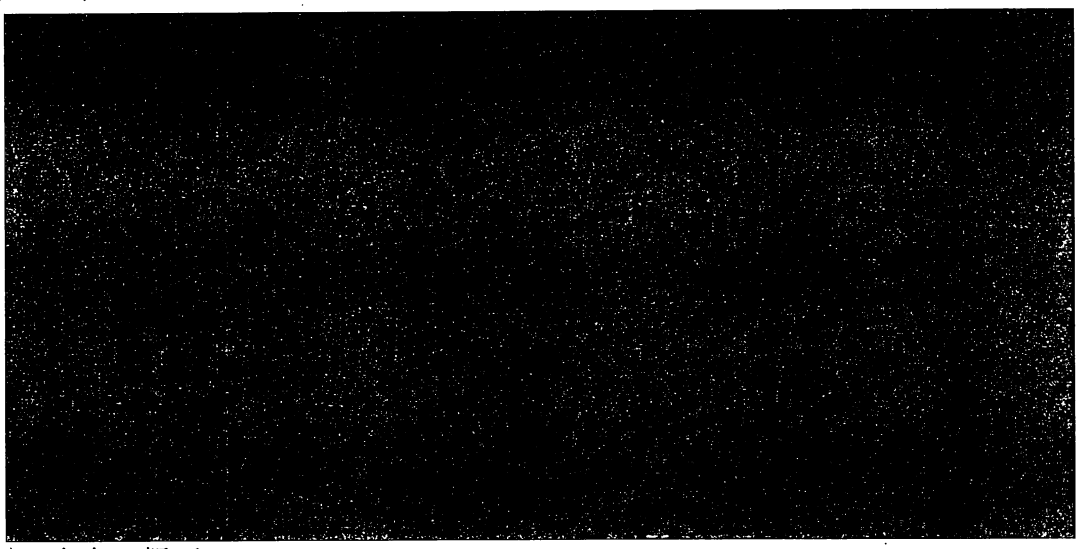




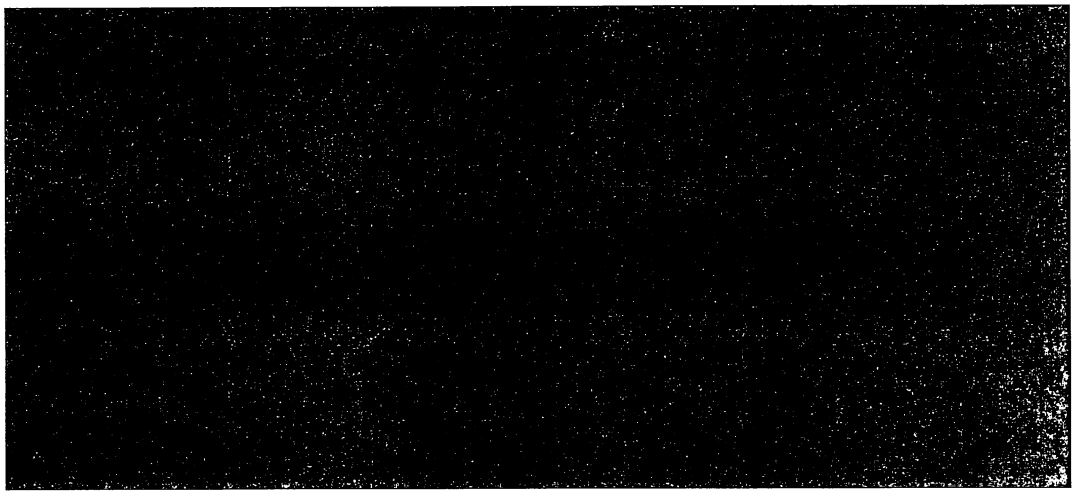
Ⅲ　民事共通

1　総説

(1)　趣旨

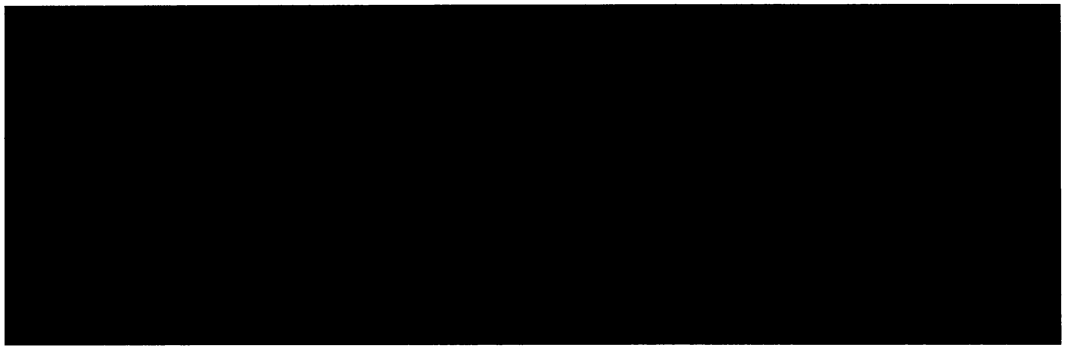


(2)　事案の概要



2　民事共通演習１（準備）、民事共通演習２（口頭弁論期日）

(1)　課題及び実演等



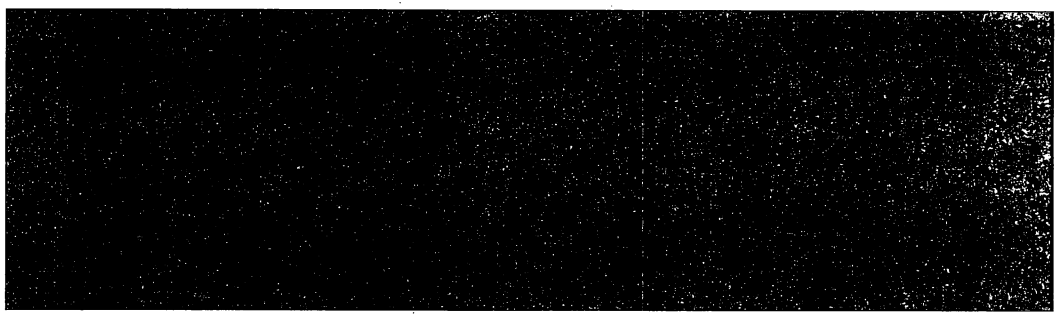
[redacted]

(2) 講評

[redacted]

3 民事共通演習３（弁論準備手続期日）

(1) 課題及び実演等



(2) 講評等

[redacted]

4 民事共通演習５（和解）

(1) 課題及び実演等

[redacted]

(2) 講評

[redacted]

5 民事共通演習４（準備）、民事共通演習６（交互尋問）

(1) 趣旨

[redacted]

(2) 事前準備等（演習４（準備））

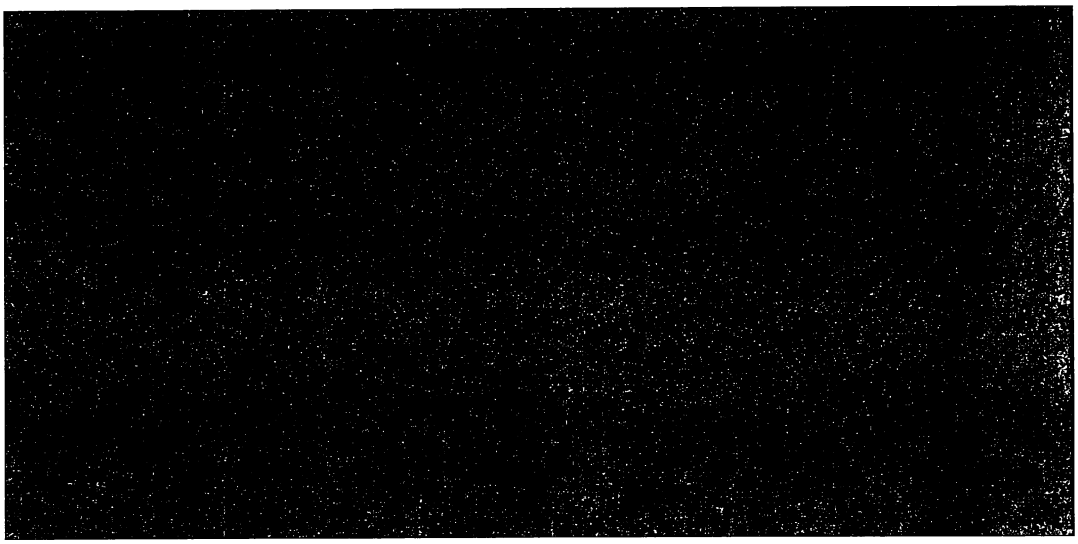
[redacted]

[redacted]

(3) 交互尋問等（演習６（交互尋問））

[redacted]

(4) 講評等（演習６（交互尋問））



6 民事共通演習７（判決）

(1) 判決

[redacted]

(2) 講評

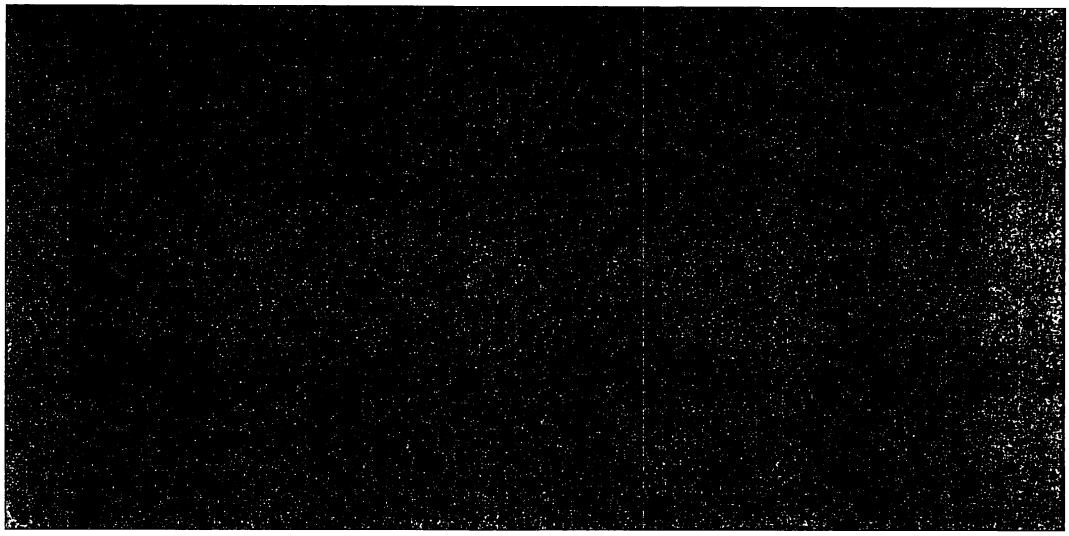
[redacted]

第２　刑事関係科目

Ⅰ　刑事裁判

１　起案

⑴　総説



なお、いずれの設問についても、書式、形式等を要求するものではないし、単なる知識を問うものでもなく、新司法修習における指導理念に対応した、法曹としての活動に共通して必要となる汎用性のある基礎的な能力を修得させることに重点を置いて出題している。

⑵　起案１

ア　事案の概要



イ　起案事項



ウ　講評

[redacted]

(3) 起案２

ア 事案の概要

[redacted]

イ 起案事項

[redacted]

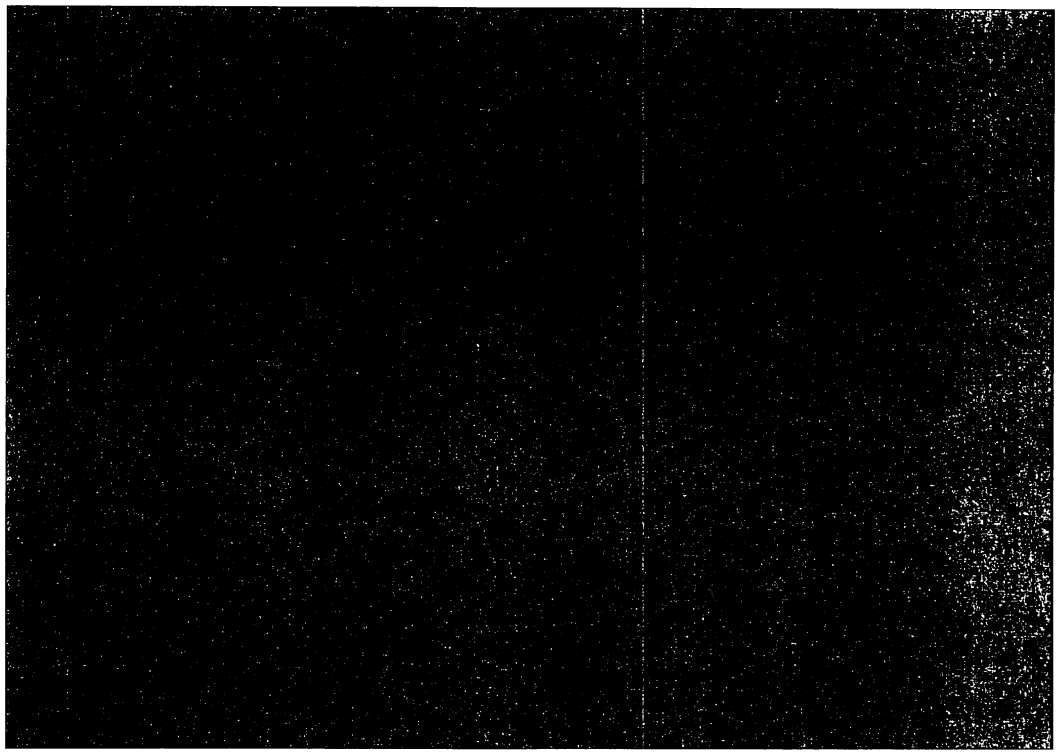
ウ 講評

[redacted]

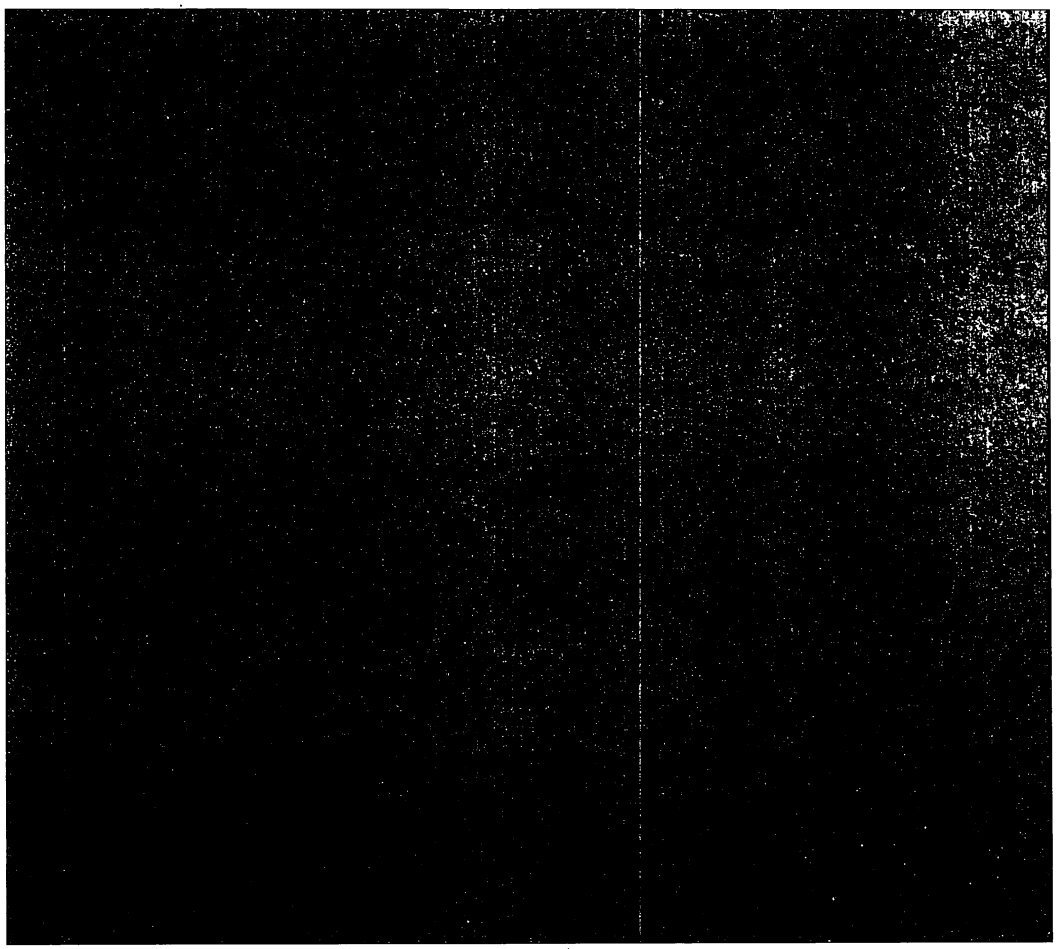
２ 問題研究

(1) 指導目標

[redacted]



(2)　実施内容



Ⅱ　検　　察

1　起案

(1)　検察起案の概要

[redacted]司法修習における指導理念に対応し、法曹としての汎用性のある基礎的な能力を修得させることに重点を置いた出題である。

[redacted]

(2)　起案１

ア　事案の概要

[redacted]

イ　起案事項等

[redacted]

ウ　講評

[redacted]

(3) 起案２

ア　事案の概要

[redacted]

イ　起案事項等

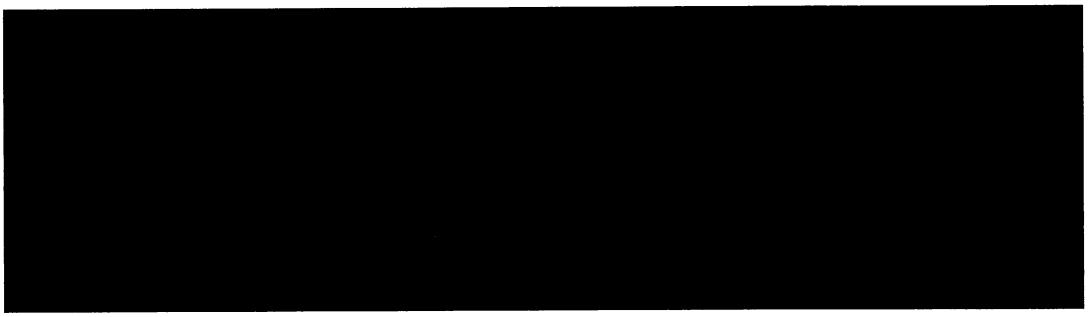
[redacted]

ウ　講評

[redacted]

２　問題研究（被害者保護）

[redacted]

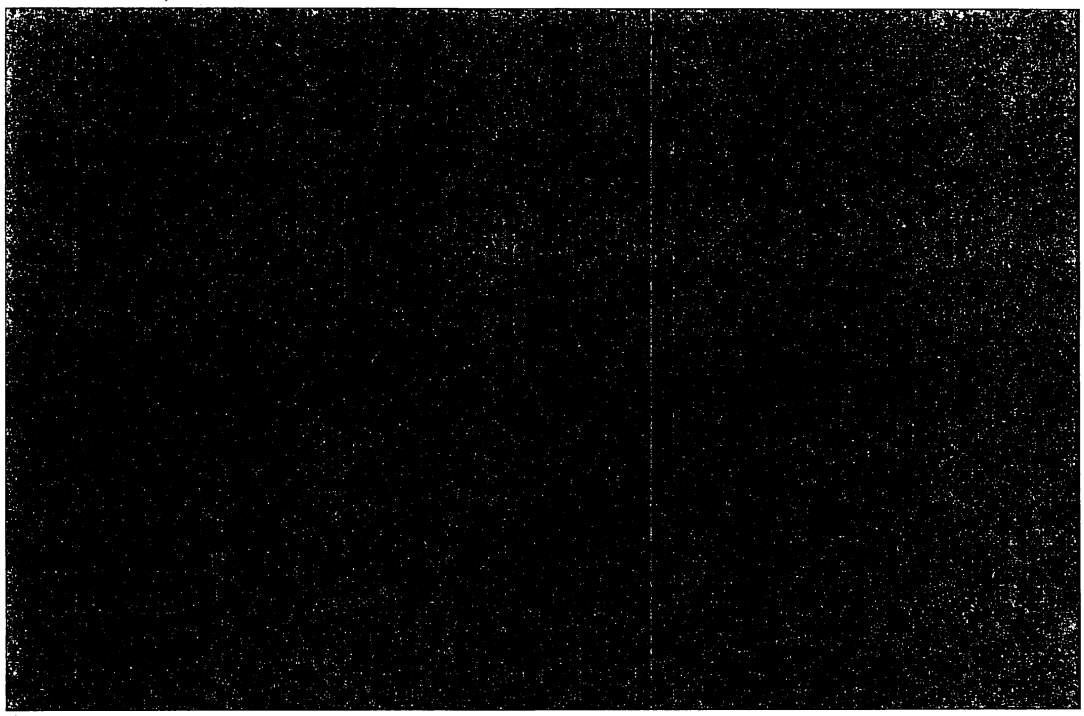


Ⅲ　刑事弁護

1　起案

⑴　総説

刑事弁護教官室は、修習生に対して、具体的な刑事事件に基づきケース・セオリー（弁護人の求める結論が正しいことを導く論拠）を確立する弁護活動の基本を指導し、弁護人が行うべき最善の努力を尽くした活動とは何かを考えさせることにより、弁護人としての基本的な能力・技術、さらには、法曹の活動に共通して必要とされる基本的かつ汎用的な能力を修得させるとともに、法曹資格取得後の自己研鑽への意識付けをさせることを指導方針としている。



⑵　起案１

ア　事案の概要

[redacted]

イ　起案事項

[redacted]

[redacted]

ウ　講評

[redacted]

(3)　起案２

ア　事案の概要

[redacted]

イ　起案事項

[redacted]

ウ　講評

[redacted]

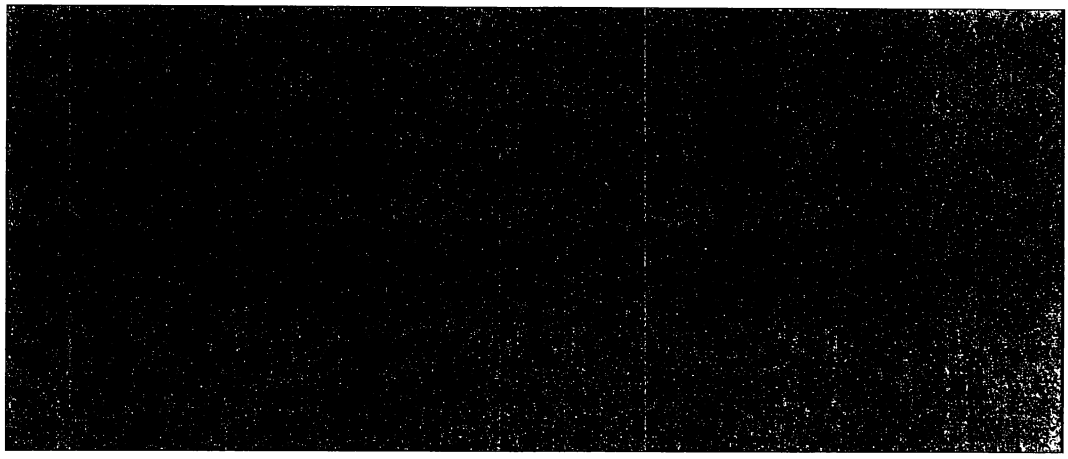
２　問題研究（取調べ対応及び起訴前の弁護活動、想定弁論）

(1)　指導目標

[redacted]

(2)　実施内容

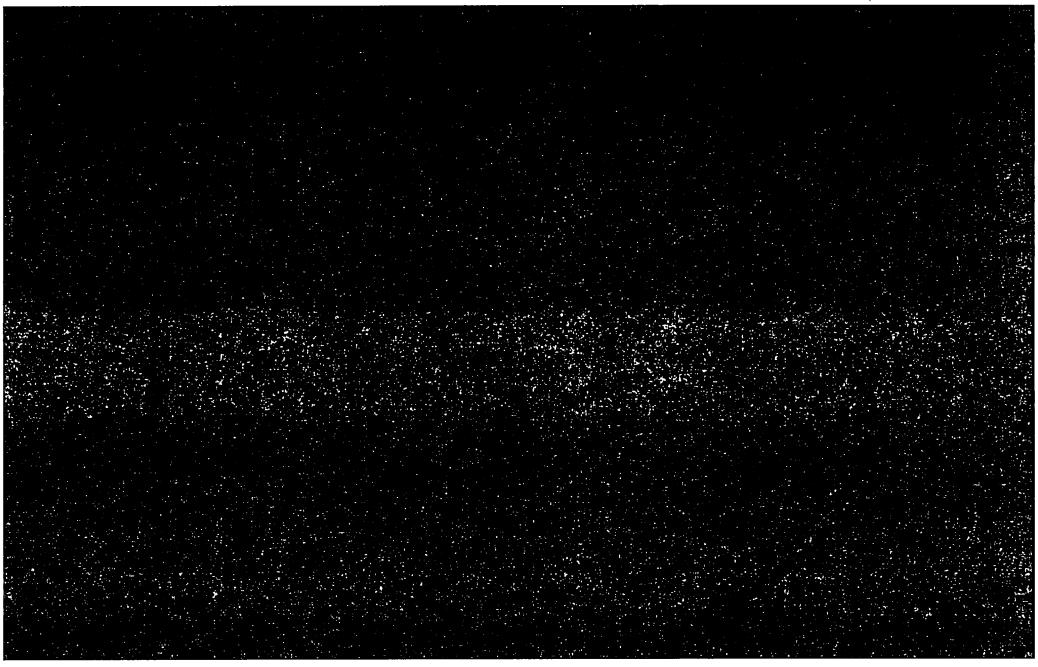
[redacted]



Ⅳ　刑事共通

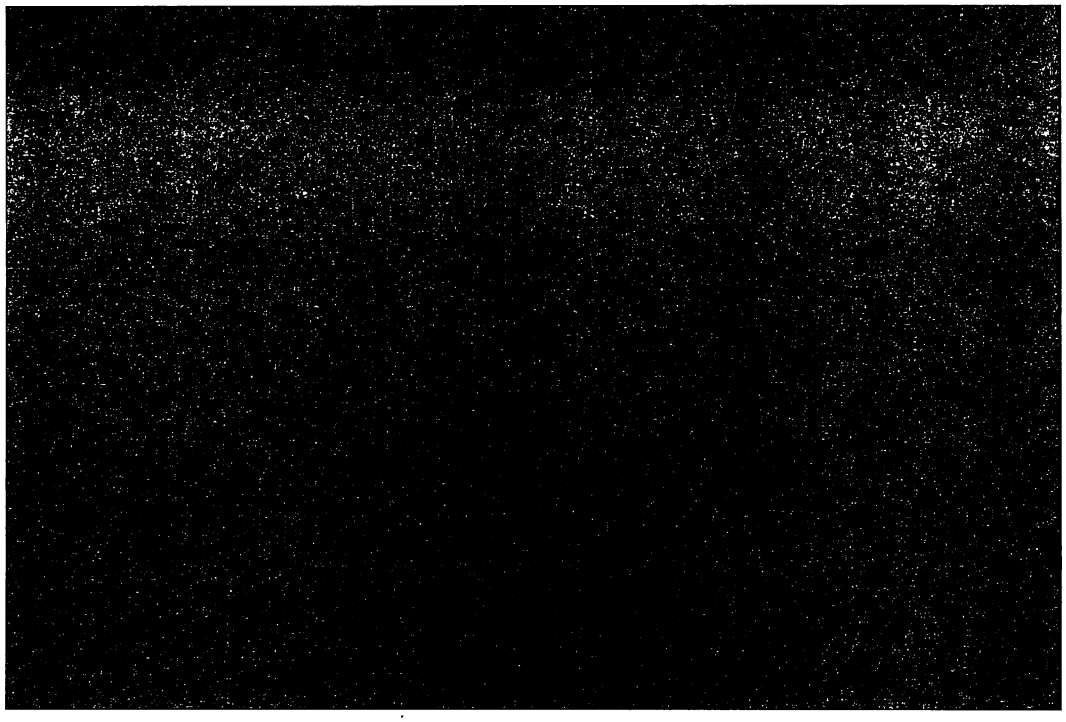
1　刑事共通演習

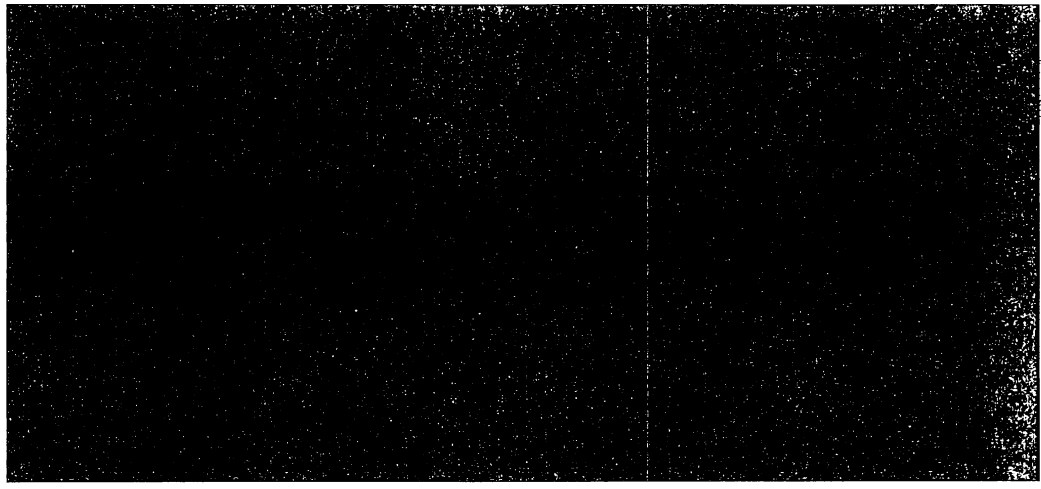
(1)　指導目標



これらの演習を通じ、的確な争点整理を行う上での必要な視点を提供し、これにより、法曹としての活動に共通して必要とされる汎用性のある基礎的な能力を修得させるよう努めた。

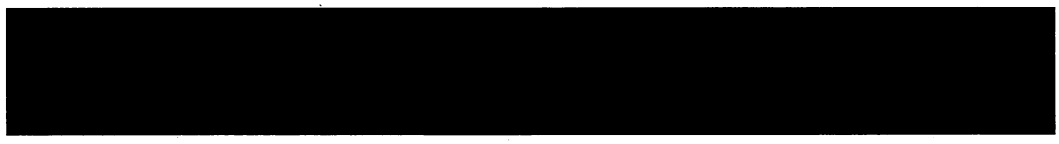
(2)　実施内容



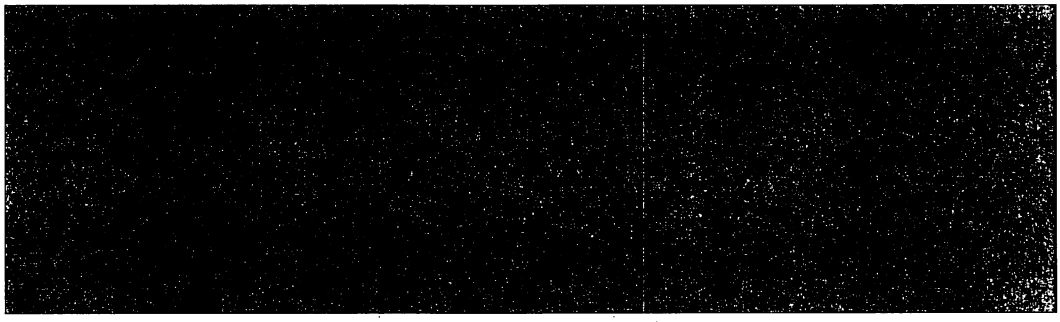


2　刑事共通問題研究

(1)　指導目標



(2)　実施内容



第３　その他の共通科目等

Ⅰ　全科目共通

特別講義「国際人権」

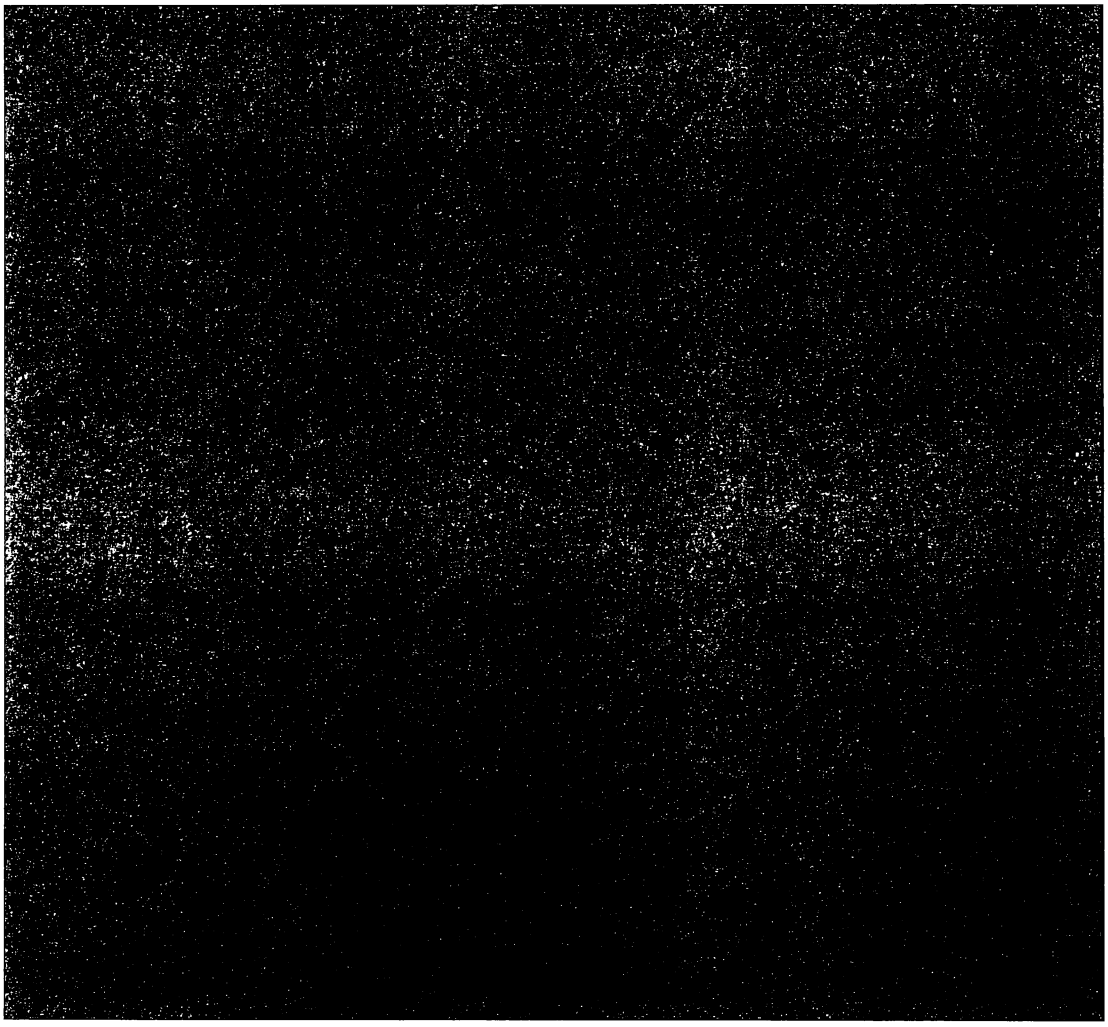
講　師　　弁護士（東京弁護士会）　大　谷　美紀子　氏

国際人権については、その重要性に鑑み、各期において全科目共通特別講義という形式で国際人権全般にわたって講演を行ってきた。

第７８期においても、同様の趣旨に基づき、講師が、法曹が国際人権法を学ぶ意味や目的、国際人権法を理解するための基礎的知識、法律実務の中の国際人権法の位置づけ等について、講演を行った。

Ⅱ　弁護共通

演習「弁護士倫理」



令和6年度（第78期）司法修習生

A班　集合修習日程予定表

（注）　本表は予定であって、確定日程ではない。

月／日	曜	1限目（9:50～11:40）※11月21日オリエンテーションは1限開始前の9:10頃～	2限目（12:40～14:30）	3限目（14:45～16:35）
11/21	金	オリエンテーション※	民裁講義（9:50開始）	刑弁問題研究
24	月	振替休日		
25	火	民弁問題研究1	民弁問題研究2	
26	水	民裁起案1（即日）		
27	木	刑弁起案1（即日）		
28	金	検察起案1（即日）		
12/1	月	民弁問題研究3	民共演習1（準備）	
2	火	刑裁起案1（即日）		
3	水	民弁起案1（即日）		
4	木	刑共演習（争点整理等）	民弁演習（法律相談）	

月／日	曜	1限目（9:50～11:40）	2限目（12:40～14:30）	3限目（14:45～16:35）
5	金	刑共演習（争点整理等）		
8	月	刑共演習（尋問）		
9	火	民裁起案1講評		
10	水	弁共演習（弁護士倫理）	民共演習2（口頭弁論期日）	
11	木	民裁起案2（即日）		
12	金	刑共問題研究（情状・量刑）	刑弁起案1講評	
15	月	検察起案1講評		刑裁起案1講評
16	火	刑裁起案1講評	民弁起案1講評	
17	水	刑弁起案2（即日）		
18	木	検察起案2（即日）		
19	金	刑裁起案2（即日）		
22	月	民弁起案2（即日）		
23	火	民弁講義（契約）	民共演習3（弁論準備手続期日）（12:30開始）	
24	水	民共演習4（準備）	民裁演習（争点整理）	
25	木	民裁演習（争点整理）		民共演習5（和解）
26	金	民裁起案2講評		
1/5	月	刑裁問題研究	刑弁起案2講評	
6	火	民共演習6（交互尋問）		
7	水	検察問題研究（被害者保護）	検察起案2講評	
8	木	全共特別講義	刑裁起案2講評	

月／日	曜	1限目（9:50～11:40）	2限目（12:40～14:30）	3限目（14:45～16:35）
9	金	民共演習7（判決・講評）	民弁起案2講評	

選択型実務修習

月／日	曜	
3/2	月	考試
3	火	考試
4	水	考試
5	木	考試
6	金	考試

凡例

民裁・・・民事裁判	民共・・・民事共通
刑裁・・・刑事裁判	刑共・・・刑事共通
民弁・・・民事弁護	全共・・・全科共通
刑弁・・・刑事弁護	弁共・・・弁護共通
	（即日）・・・即日起案